

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年12月11日(2014.12.11)

【公開番号】特開2013-109521(P2013-109521A)

【公開日】平成25年6月6日(2013.6.6)

【年通号数】公開・登録公報2013-028

【出願番号】特願2011-253137(P2011-253137)

【国際特許分類】

G 06 F 12/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 12/00 5 3 3 J

G 06 F 12/00 5 3 1 J

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月23日(2014.10.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コンテンツを格納する格納手段を備え、該格納手段に格納されたコンテンツを、他装置が有するコンテンツと同期させる情報処理装置であって、

前記他装置との通信に用いる通信パラメタを管理するパラメタ管理手段と、前記格納手段内のコンテンツの更新履歴を示す変更ログを管理するログ管理手段と、前記通信パラメタを削除する指示に応じて、前記通信パラメタを削除し、かつ前記変更ログを削除する削除手段と、

を備えることを特徴とする、情報処理装置。

【請求項2】

前記削除手段は、第1の他装置についての前記通信パラメタを削除する指示を受け付いた際に、前記情報処理装置が前記第1の他装置を介して通信を行う第2の他装置についての変更ログをさらに削除することを特徴とする、請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記削除手段は、前記他装置との接続が一時的な接続である場合に、前記他装置とのコンテンツ同期の終了後に、前記通信パラメタを削除し、かつ前記変更ログを削除することを特徴とする、請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記通信パラメタを削除する指示を検出する検出手段を更に備え、

前記削除手段は、前記通信パラメタを削除する指示の前記検出手段による検出に応じて、前記通信パラメタを削除し、かつ前記変更ログを削除することを特徴とする、請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記パラメタ管理手段は、前記他装置との通信に用いる通信パラメタを他装置ごとに管理し、

前記削除手段は、第1の他装置についての通信パラメタを削除する指示に応じて、該第1の他装置についての前記通信パラメタを削除し、かつ該第1の他装置についての前記変更ログを削除することを特徴とする、請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項6】

コンテンツを格納する格納手段を備え、該格納手段に格納されたコンテンツを、他装置が有するコンテンツと同期させる情報処理装置が行う情報処理方法であって、

パラメタ管理手段が、前記他装置との通信に用いる通信パラメタを管理するパラメタ管理工程と、

ログ管理手段が、前記格納手段内のコンテンツの更新履歴を示す変更ログを管理するログ管理工程と、

削除手段が、前記通信パラメタを削除する指示に応じて、前記通信パラメタを削除し、かつ前記変更ログを削除する削除工程と、

を備えることを特徴とする、情報処理方法。

【請求項 7】

コンピュータを、請求項 1 乃至5 の何れか 1 項に記載の情報処理装置の各手段として機能させるための、コンピュータプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の目的を達成するために、例えば、本発明の情報処理装置は以下の構成を備える。すなわち、

コンテンツを格納する格納手段を備え、該格納手段に格納されたコンテンツを、他装置が有するコンテンツと同期させる情報処理装置であって、

前記他装置との通信に用いる通信パラメタを管理するパラメタ管理手段と、前記格納手段内のコンテンツの更新履歴を示す変更ログを管理するログ管理手段と、前記通信パラメタを削除する指示に応じて、前記通信パラメタを削除し、かつ前記変更ログを削除する削除手段と、

を備えることを特徴とする。